

こころが聞きたい



こもり りゅういち
小森 隆一 議員(公明党議員会)
国道50号沿線開発の促進について



Q 国道50号沿線開発の基本構想と現時点での課題について伺いたい。

A 加藤副市長

国道50号沿線開発構想においては、東西2つのエリアを開発想定エリアとして位置づけています。

課題として、本市では既に流出原PA周辺総合物流開発整備に着手し、市が事業主体となつてAゾーン整備を推進していることから、同時に複数の産業団地整備に取り組むことが人的、財政的な面からも大変難しい状況にあります。こうした課題を解決するため、現在も市長自ら知事への開発要望を行うとともに、土地利用転換や都市計画の変更等に関する県担当部局との協議、民間事業者との意見交換などを通じ、本市以外が主体となる開発の可能性について、多角的に検討を進めているところです。

その他の質問

- ☆教育について
- ☆障がい者支援について
- ☆デマンド交通について



くぼ たかひろ
久保 貴洋 議員(倉生会)
コロナ禍における文化、産業の振興について



Q 今後、飲食店を対象とした新たな支援や取組があれば伺いたい。

A 加藤副市長

1点目に、さのまるテイクアウトプロジェクトについて、開始から1年以上経過していることから、新規参加店舗のさらなる募集、ホームページのリニューアル、マップ更新に伴うイベントの開催などを検討しています。

2点目に、とちまる安心認証を取得した飲食店に奨励金を交付し、感染防止対策のさらなる徹底を支援するとともに、認証店舗を対象にシールラリーを実施することで、飲食店の利用促進も図りたいと考えています。

3点目に、キャッシュレス決済の飲食店への導入を促進します。利用者に向けたプレミアムポイントの還元キャンペーンを実施し、感染予防対策と社会経済活動を両立した支援を考えています。

その他の質問

- ☆コロナ禍における観光、スポーツの振興について



つるみ よしお
鶴見 義明 議員(日本共産党議員団)
GIGAスクールの現状について



Q 下野新聞で、裸眼視力が1.0未満の栃木県の小中学生の割合がそれぞれ35%、61%となり、2000年度以降で最多となったという報道がされていた。子供たちの視力が低下しているのは間違いない事実である。教育委員会として、どのような認識を持っているのか伺いたい。

A 教育長

学校では、国から出されたICTの活用にあつたつての児童生徒の目の健康などに関する配慮事項という通知があり、これを参考に目と画面との距離、姿勢、長時間連続して使用しないことなどについて指導をしています。また、視力表を用意し、定期的に視力検査を行っている学校もあります。さらに、スクールカウンセラーのアドバイスで、休み時間に目のマッサージトレーニングを実施している学校もあります。

その他の質問

- ☆コロナ禍における生活支援について

